

8-4-21 道路構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

- (1) 委員会・WG・対外活動記録
 - a) 道路構造物専門委員会開催：11 回（定例）
 - b) 各 WG への参加：随時（公益活動 WG、生産性向上 WG、維持管理対策 WG、業務体系 WG、道路会社業務検討 WG、対外活動委員会 WG、照査特別 WG、改定道路橋示方書連絡 WG、設計ソフトウェア連絡 WG、道路橋技術相談窓口 WG、協調領域検討 WG など）
 - c) 対外活動（外部機関委員会等）への参画：随時（日本道路協会 各種便覧・WG 等 6 委員会、土木学会 各種指針等 1 委員会、その他 国交省・一般社団法人・国総研等 4 委員会への対応）
- (2) 設計体系・新たな技術等に関する検討
 - a) 道示改定について、各 WG へ示方書改定における具体的な記述を進めるための意見照会や整理などの検討を進めている。
 - b) 設計・計画便覧作成については、成果に記載されるべき内容を具体的に記述するための視点や事例を取りまとめることを目的として、記載内容の検討を進めている。
 - c) 国土技術政策総合研究所との共同研究「既設道路橋群の維持管理計画の継続的改善に関する共同研究」へ参加し、道路橋の管理指標や状態評価指標・維持管理計画の策定に貢献している。
 - d) 土木学会主催の各委員会や基準改定・策定活動へ協会委員として参加した。
 - e) 各種協会との共同により将来に向けた活動を実施（橋建協：鋼橋の計画・設計・製作・施工における様々な技術的課題の解決に向けた意見交換会、PC 建協：PC 建設業界を取り巻く現状および抱える様々な課題等に関する意見交換会、PC4 協会：現場見学会、技術講演会及び意見交換会開催）した。
 - f) 協調領域検討会の設計 WG に関して、地質調査・設計 PT や施工機械・資機材 DB_PT に参加

し、生産性向上に向けた検討や関連団体との意見交換を実施した。

- (3) 契約・報酬等に関する検討（国交省・各高速道路会社）
 - a) 契約に係る業務共通仕様書・設計歩掛について、実態に即した内容を検討し改善へ向けた協議を実施した。
 - b) 各高速道路会社との「実務レベルの課題を解決するための実務者検討会」に係る資料の作成を行い検討会に参画した。
- (4) 成果品の品質確保、向上のための活動
 - a) 技術部会の関連専門委員会・各 WG とともに、オンライン開催した「令和 7 年度品質セミナー“エラー防止のために”」の内、橋梁に関する事例収集・テキスト作成を担当した。
- (5) 若手技術者育成のための活動
 - a) 参加各社の若手技術者育成体制について、持ち回りで紹介と意見交換を実施し、若手育成ノウハウの共有を図った。
- (6) 道路構造物に係る意見照会やアンケート等への対応
 - a) 主に橋梁の設計体系、設計技術、契約・報酬等に関する意見照会やアンケートへの対応を実施した。

2. 次年度の活動について

次年度も関係する WG や関係機関等との活動を継続し、新たな課題への対応も実施する。

- ・橋梁等の道路構造物に関する設計体系や構造設計技術、報酬等に係る検討、国交省・国総研等との共同研究や意見交換会への参加
- ・若手育成にむけた意見交換などの活動
- ・DX 活用にむけた意見交換などの活動（仮テーマ）

（道路構造物専門委員会委員長 荒木 伸夫）